



記念樹

発行者
医療法人 大分記念病院

大分市羽屋9組の5
TEL 097 - 543 - 5005



ホームページアドレス <http://oitamh.jp>

2015年1月15日 Vol.109

謹賀新年

皆様、二〇一五年この新しい年を如何お迎
えでしょうか。

昨年も例年と変わらず、忙し気に立ち去っ
てしまいましたが、国内国外を問わず心の安
まる間のない一年でありました。

記録的な大雪、大雨、そして洪水土砂崩れ、
更には大きな地震に火山の噴火。日本列島ど
こにも安住の地はないように見えます。ひと
たび地震が起これば全ての町に洪水警報が
発令されようという災害列島。原子力発電
所の安住の地もなさそうです。

政治に目を向けると一昨年の特定秘密保
護法案は昨年十二月十日より施行、昨年七
月一日には集団的自衛権の閣議決定。海外
では力によるクリミア半島のロシアへの編入。
続いているイラク・シリアにおける「イスラム
国」樹立の宣言に至っては地球の命運も極ま
りかかとペシニスティックになりますが、人間
の英知を信じて平和を発信して行きたいも
のと考えています。

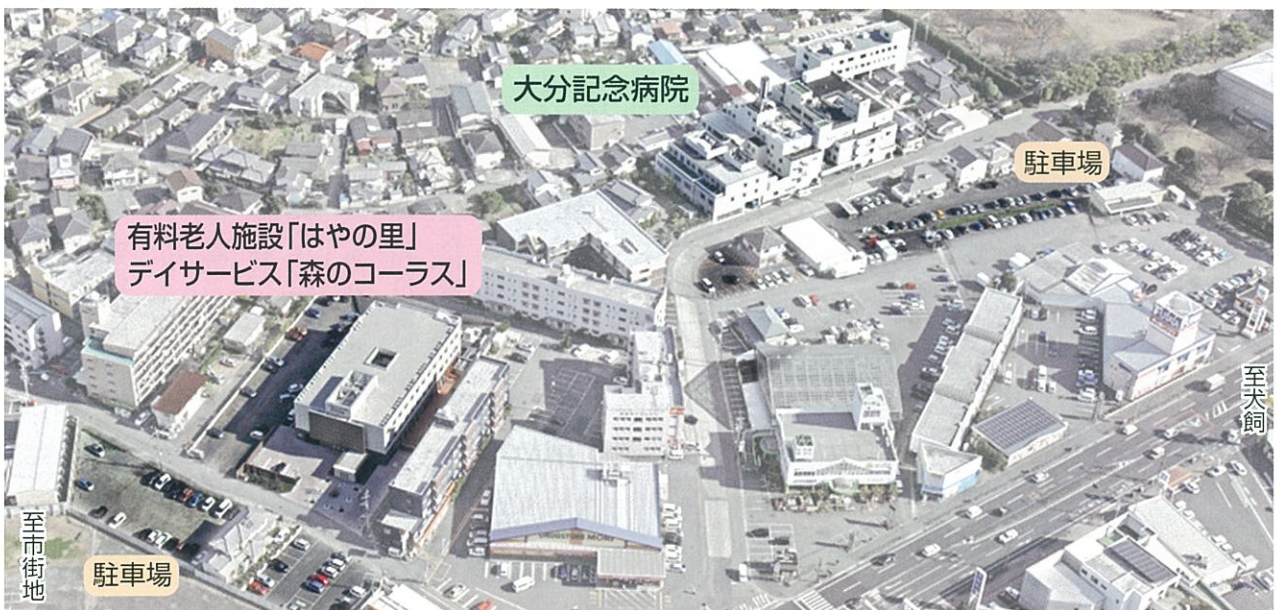
年末、十一月十四日には衆議院選挙があり
ました。日本人の英知がどの程度のものであ
るかが試される選挙でしたが、投票率は戦後



最低の52.66%。国民の意見を示すものと言え
るでしょうか。

大分記念病院は超高齢化時代を迎えるに
当たって、昨年七月に老人施設「はやの里」と
デイサービス「森のコーラス」を発足させま
した。また、十二月三日には創立三十四周年
を迎えることが出来ました。このことは偏に
地域の皆様方と、地域医療機関の皆様方のご
支援、ご指導のお蔭であり、感謝申し上げます。次
第です。病院の関連施設が少し離れて広がっ
たので、お分り難いかと思つて俯瞰図を撮つ
てみました(写真)。

超高齢化社会への移行、医療技術の向上に
従つて日本の医療制度も新しい方向に転換
を始めているように見えます。これからはよ
り一層の医療の質の向上が求められましょ
う。及ばずながら、地域医療の一角が担える
ようになりたいものと考えている所です。本
年も地域の皆様方のご指導、ご支援を頂きま
すよう宜しくお願いいたします。



糖尿病と悪性腫瘍罹患リスクの関連

●はじめに

従来から、糖尿病患者に膵臓癌などの悪性腫瘍の罹患率が高いことが知られていましたが、近年糖尿病と癌罹患リスクの関連が次第に明らかになってきました。

2010年、米国糖尿病学会と米国内癌学会は、合同で糖尿病と癌罹患の関連について多面的に調査研究した結果を下記のように9つの要約と推奨事項にまとめて発表しました。

(1) 糖尿病(主に2型糖尿病)では、肝臓癌、膵臓癌、子宮内膜癌、大腸癌、乳癌、膀胱癌などのリスクが増加する一方で、前立腺がんリスクが減少する。

(2) 健康的な食事、運動、体重コントロールは2型糖尿病およびいくつかの癌の罹患リスクを減少し予後を改善するため推奨すべきである。

(3) 医療者は糖尿病患者に対し性別・年齢に応じて適切に癌のスクリーニングを受診するように推奨すべきである。

2011年に日本でも日本糖尿病学会と日本癌学会の専門家による

合同委員会が設立され、2013年にその調査研究結果が発表されました。それによりまずと、糖尿病と診断されたことのある日本人においては、何らかの癌に罹患するリスクは男性では1.27倍、女性では1.21倍で、胃癌、大腸癌、肝臓癌、膵臓癌、腎臓癌のリスクが増加し、糖尿病に関連する病態であるメタボリック症候群では、男性では肝臓癌、女性では膵臓癌のリスクが増加するとの結果が報告されています。

糖尿病による

癌罹患リスク上昇のメカニズム

(1) インスリン抵抗性と

高インスリン血症

インスリンの作用不足に由来する高インスリン血症そのものが癌の増殖や転移を促進することがマウスへの移植癌モデルにおいて示されています。

(2) 高血糖

高血糖による酸化ストレスの亢進は、細小血管や大血管合併症の原因の一つと考えられています。同時

にDNA損傷を介して癌の発生率増加につながる可能性があると考えられています。

(3) 慢性炎症とアディポカイン

多くの2型糖尿病は肥満を伴いますが、肥満では脂肪細胞に慢性炎症が生じることが知られており、それが発がんに関与する可能性が示唆されています。脂肪細胞から分泌されるアディポネクチンは抗炎症作用を有し、インスリン感受性増強作用や抗動脈硬化作用をもつ代表的なアディポカインで、肥満や2型糖尿病では血中アディポネクチン濃度が低下しますので、それが慢性炎症を発症し発がんに関与する可能性が示唆されています。

結語

糖尿病患者さんは血糖のコントロールのみでなく、癌の予防と早期発見を常日頃から心がける必要があります。肥満、運動不足、喫煙は癌になり易い共通の生活習慣で、5倍癌に罹患しやすいとされています。

早期の肺癌の場合、症状もあまり

なく、普通の胸部レントゲン写真では発見出来ず、CTスキャンではじめて発見されるケースがあるので要注意です。

また、肝臓癌や膵臓癌などは血液検査や胃や大腸の内視鏡検査だけでは分かりませんので、必ず腹部の超音波検査を受けましょう。

(豊田)



講演 「バイオエシックス～(新しい医療/生命倫理)」

講師 豊田 貫雄 先生

昨年9月11日(木)に開催された定例研修会は、医療倫理教育の一環として当院名誉理事長の豊田先生に「バイオエシックス(新しい医療/生命倫理)」と題して講演をしていただきました。以下は豊田先生ご執筆の講演の抄録です。



1)バイオエシックスとは

Bioethicsとはギリシャ語の生命(bios)と倫理学(ethike)に由来し、バイオエシックスという言葉は1970年にアメリカウイスコンシン大学医学部のポッターが彼の論文「生き残りの科学」の中で初めて用いたとされています。ライクは「生命科学と医療をめぐる道徳的問題について、道徳的な見方、意思決定、行為、政策も含め、さまざまな倫理学的方法論を学際的な場面で使用しながら考察する体系的研究」と定義しています。

2)バイオエシックス誕生の経緯

アメリカでは1960年代頃より人種差別撤廃、公民権運動、女性解放運動や消費者運動などが盛んになり、医療過誤に対する訴訟件数も爆発的に増加しました。さらに1962年のケネディー教書『消費者の四つの権利』を契機に、「医療もまた消費者サービスの市場であり、医療提供側と患者側は対等な水平関係である」という考え方が支配的となりました。

一方、1930年代のサルファ剤とペニシリンの発見と1950年代の遺伝子コードの発見による分子生物学の発達により疾病構造が感染症から癌、心臓病や脳卒中などの慢性疾患に移ったため、医師やその他の医療スタッフとのチーム医療とインフォームド・コンセントが欠

かせないものとなりました。その結果、伝統的なヒポクラテスの「無危害原則とパターンリズム」の医療倫理はもはや十分ではなくなりました。1967年には「心臓移植手術」が世界で初めて行われましたが、「脳死の定義」と「死の定義」などをめぐって臓器移植の倫理が議論的となり、1970年代の遷延性植物状態患者の呼吸器や栄養管取り外し事例をめぐって患者の自己決定権および死ぬ権利などについての倫理が議論され法制化もされました。さらに遺伝子組み換え技術の確立によりバイオハザードの危険が深刻化するとともに、当時医学や生物学研究のために行われた非人間的な人体実験スキャンダルが次々に発覚する事件もあり、生命に関する個々の倫理問題を広く学際的に研究する必要性が高まり、バイオエシックスの誕生を促したとも思われます。



講演 「たばこと健康」

講師 高田 三千尋 先生



昨年10月9日(木)に開催された定例研修会は、当院名誉理事長の高田先生に「たばこと健康」と題して講演をしていただきました。以下は高田先生ご執筆の講演の抄録です。

2011年9月19～20日、ニューヨークで行われた国連総会のハイレベル会議で歴史的といわれる全体会議が行われました。そこでは今までの国連での健康対策である感染性疾患から大きく転換して、非感染性疾患対策を国連の新たな目標とすることが決められました。

このことは戦後続いていた結核、マラリア、住血吸虫など感染する(うつる)病気については1981年に見つかった最後のエイズを含めてコントロールに目処がついたために、現在国際的に大きな問題となっているがん、高血圧、心筋梗塞、糖尿病、慢性呼吸器疾患など非感染性疾患対策に重点を置くことになったということです。そして予防のための重要な危険因子として1)喫煙、2)不健康な食事、3)有害なアルコール摂取、4)身体的な不活発の4項目を指定しました。中でも最大の危険因子はたばこであることを明記し、国際的に禁煙運動を推進することが決められた所です。

さて、たばこの害については既に1965年Hammondの報告を初め日本では1981年国立がんセンターの平山の報告があり、国連でもしばしば取り上げられています。日本でも2004年にたばこ規制枠組み条約が締結されていますが、未だに満足すべき結果が得られていないのが現状です。

例えば2010年のOECD報告でみると、日本は喫煙率では33ヶ国中6番目と高率です。殊に男性若年者の



喫煙率が高く、女子では喫煙率の低下が見られないなどゆゆしい問題があります。また中高生の喫煙率も高く、十分な対策が講じられていません。

たばこ規制枠組条約ではたばこのパッケージにたばこの害を示す写真を付けることが禁煙に有用であるとされており、欧米各国では殆どのたばこに肺がんや心筋梗塞、あるいは解剖台の上の人の写真など掲示して、たばこの害を強調していますが、日本のたばこには小さな文字で注意事項が書いてあるだけ、いかにも消極的で国際的にも評価の低い所です。日本のたばこも海外で販売するものについては、おどろおどろしい写真が掲示してあります。

また禁煙の実を上げるには、たばこの価格を高くすることが有用であるとされていますが、日本のたばこの価格はノルウェーと比べると四分の一。如何にも消極的で国民の健康対策としてより積極的な対策が望まれます。

たばこと肺がんの発生についてアメリカで20年のタイムラグ(時間的遅れ)があることが示され、日本では30年のタイムラグがあるとされていますので、今後喫煙率が減少するとしても30年先まで肺がんの患者は増加が続くこととなります。

当院では禁煙外来を開いて積極的に禁煙を推進していますが、今後更なる強化が必要であろうと考えています。

講演 「院内感染の基礎知識とその防止対策について」

講師 杉崎 勝教 先生

昨年11月13日(木)に開催された定例研修会は、当院呼吸器内科の杉崎先生に「院内感染の基礎知識とその防止策」と題して講演をしていただきました。以下は杉崎先生ご執筆の講演の抄録です。

近年高齢者を中心に免疫力の低下した患者が増加するとともに各種の薬剤に耐性となった薬剤耐性菌が増加してきたため、薬剤耐性菌の院内感染事例が多く報告されるようになってきた。また一旦こうした院内感染事例が顕在化すると単に病院内部の問題に止まらず、広く社会的な問題となったり医療訴訟につながったりする危険性をはらんでいる。

以上から、厳密に標準予防策(スタンダードプレコーション)を遵守するとともに日々院内感染が発生する危険性を除去していく努力が求められている。

院内感染とは『病院内もしくは医療機関内で新たに細菌やウイルスなどの病原体に感染すること』と定義される。いわゆる持ち込み感染と呼ばれるすでに感染した状態で入院してくる場合はこうした院内感染とは区別されるが、従来から入院している患者や医療従事者に持ち込んだ感染症をさらに蔓延させる可能性があり、持ち込み感染についても十分な監視と対策を行わなければならない。院内感染予防を行うためには院内感染対策委員会の活動と院内感染対策マニュアルの整備が必要である。また感染情報の共有や院内感染対策のための講習会の開催も必要である。こうした院内感染対策は病院機能評価の最重要項目となっている。

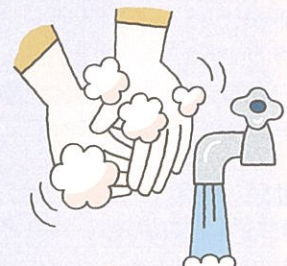
さて院内感染対策の対象となっている病原体として



はMRSA(メチシリン耐性ブドウ球菌)やMDRP(多剤耐性緑膿菌)などの多剤耐性菌、インフルエンザ等の気道感染ウイルス、ノロウイルスなどの消化管感染ウイルス(いずれも5類感染症)、疥癬などが重要である。肺結核(2類感染症)は今でも最も重要な院内感染を起こす感染症であるが、近年その罹患率は減少してきている。

こうした感染症に対してそれぞれ感染経路別の標準予防策が必要である。基本的に空気感染(結核、風疹、はしか等)、飛沫感染(インフルエンザ等)、接触感染(MRSA、MDRP、ノロウイルス等)の3つの経路が重要で、手袋着用と手洗い(接触感染予防)、マスク着用と患者隔離(飛沫感染)、個室隔離と換気、N-95マスク着用(空気感染)が基本的な標準予防策である。特に手洗いがすべてに重要であり、熱心に診察したために逆に自分の手で院内感染を起こしてしまうといった危険を防ぐ最も重要なポイントである。

新たな院内感染事例を作らないためには、医療従事者一人一人が標準予防策に対する十分な知識を持ちその実践を行っていく必要がある。





大分記念病院創立34周年の記念式典が、昨年12月4日(木)当院の多目的ホールで行われました。

まず始めに末友理事長から挨拶があり、病院の年譜などの年次報告に引き続き、今年度の永年勤続者44名の表彰が行われました。

永年勤続表彰者は以下の通りです。(敬称略)



25年勤続(2名)

麻山 美喜雄(総務部長) 堀田 和幸(放射線科)

20年勤続(6名)

伊東 寿乃(看護部) 小川 さゆり(看護部) 熊井 真紀(薬剤科)
三浦 英洋(放射線科) 川 智美(事務課) 真名井 一代(竹田クリニック看護部)

15年勤続(7名)

松室 健士(診療部) 河野 富士美(看護部) 磯崎 智子(看護部)
西崎 理恵(看護部) 岩下 美恵子(看護部) 生野 芳美(栄養課)
河野 美弥(臨床検査科)

10年勤続(11名)

安部 美代子(看護部) 池永 美春(看護部) 秦 由美子(看護部)
河野 蘭(看護部) 亀岡 知恵(看護部) 金谷 雅代(看護部) 後藤 亜季(看護部)
菅田 真理(看護部) 玉ノ井 樹里(看護部) 阿部 美紀(栄養課)
市野瀬 美恵子(医療事務課)

5年勤続(18名)

安東 智恵美(事務課) 稗田 弘宣(施設管理課) 阿部 真也(リハビリテーション科) 工藤 美子(看護部) 佐藤 友希(看護部)
富田 文乃(看護部) 水田 直美(看護部) 首藤 亜沙美(看護部) 中島 理恵(看護部) 宮澤 朋花(薬剤科) 小山 典子(薬剤科)
添田 翔子(臨床検査科) 佐藤 加奈子(臨床工学科) 矢野 愛(診療情報管理室) 小原 久美子(医療安全管理室)
石井 啓介(森のコーラス理学療法士) 堀 理香(竹田クリニック看護科) 稗田 要子(竹田クリニック栄養科)



受賞者を代表して、薬剤科の熊井真紀さんが謝辞を述べました。

最後に記念撮影があり、式典は終了となりました。



がん患者支援チャリティーイベント リレー・フォー・ライフ大分2014



リレー・フォー・ライフとは、がん患者さんやご家族、支援している方々が24時間にわたり歩き続けることで、「がん征圧」への願いや「がん」に対する理解、そして絆を深め合うチャリティーイベントです。

その始まりは、1985年にアメリカ人外科医ゴルディー・クラット氏が、がん患者さんを励まし、対がん協会に寄与する目的で「がんは24時間眠らない」「がん患者は24時間がんと闘っている」をメッセージとして運動場を24時間走り続けたことによるものです。地域社会全体でがんを闘うための連帯感を育む場として世界20ヶ国で開催され、日本での開催も今年は43ヶ所を数えました。

今回で7回目を迎えたリレー・フォー・ライフ・ジャパン2014大分は、10月11日(土)午前11時から12日(日)午前10時まで、大分スポーツ公園「大芝生広場」で開催されました。大型台風接近の影響を受けながらも、他県のチームも含め61チームのエントリーがあり、2日間で延べ5300人の参加がありました。

当院スタッフのチーム「PEACE OF HEART」は初回から毎回参加していますが、今年も「時を紡いで、ともに笑顔

で」のスローガンのもと、時間の大切さを噛み締めながら笑顔でチームフラッグを掲げ、1周410mのコースを交代で歩きました。サバイバーの方や参加された方々との交流もあり、最後まで笑顔の絶えることのない大会となりました。

サバイバーの方のために何か出来ないかという思いで参加していますが、みんなでタスキをつなぎ歩き続けた時間は何にも代えがたい貴重な経験となり、多くのパワーと勇気をもたらしました。これからもがん征圧の願いを込め「時を紡いで、ともに笑顔で」歩き続けたいと思います。

(文責 磯辺翔馬)





大分ヘモフィリア友の会 クリスマス会



大分ヘモフィリア友の会のクリスマス会が昨年12月14日(日)に当院の多目的ホールで行われました。今年も子供たちの参加があり、友の会メンバー12名と病院スタッフ8名の計20名の出席でした。

はじめに、大分ヘモフィリア友の会仲島会長と高田先生から2014年を振り返っての挨拶がありました。昨年は、平和の大切さを感じる年となりました。

その後、皆でお菓子を食べながら、子供たちの近況を聞いたりして、おしゃべりを楽しみました。受験勉

強やスポーツを頑張っている話や身長が伸びた話など、子供たちの成長を感じることができました。また、小さな子供が他施設で定期輸注を行うときの導入の困難さや、高齢になって自己輸注が難しい場合に訪問看護サービスを利用している話など、包括医療におけるネットワーク作りの大切さを改めて感じました。

最後に恒例の写真撮影。今年も友の会の皆さんと楽しくクリスマス会ができたことを嬉しく思います。



作りま専科

鶏肉団子のミルク鍋

材料(4人分)

- | | | | |
|---|------------|-------|--------|
| A | 鶏ひき肉 | | 600g |
| | 卵 | | 2個 |
| | 生姜(おろす) | | 2片 |
| | にんにく(おろす) | | 2片 |
| | 酒 | | 小さじ2 |
| B | 片栗粉 | | 小さじ2 |
| | 塩 | | 小さじ2 |
| | 酒 | | 大さじ2 |
| | 醤油 | | 大さじ4 |
| | 塩 | | 小さじ2/3 |
| | 牛乳 | | 400ml |
| | 昆布 | | 適量 |
| | 白菜、人参、しめじ等 | | |
| | お好みの野菜 | | |

作り方

- ① Aの材料を粘りが出るまで混ぜ合わせる。
- ② 野菜を適当な大きさに切る。
- ③ 鍋に水1200mlと出し昆布を入れ、沸騰したら1をスプーンで丸めながら加える。
野菜を入れてアクをとったら、Bで調味する。

ONE POINT

牛乳を入れることで味がまろやかになり、コクも出ます。また調味料の味も、より強く引き出すため、減塩にも効果的です。牛乳を加えたら、煮立て過ぎないように注意しましょう。



・ 昨年の10月～12月に
入社した新入職員をご紹
介します。皆様どうぞよろ
しくお願いたします。



舟場 光(放射線科)

1日でも早く業務を覚え、信頼されるように頑張ります。



清山 冬美(看護部)

少しでも早く仕事に慣れ、笑顔で一生懸命頑張ります。



若杉 高志(施設課)

早く仕事を覚えて頑張りたいと思います。



菊池 舞(栄養科)

覚えることがたくさんありますが早く仕事を覚えて1人前になれるよう頑張りたいと思います。



利光 康子(栄養科)

丁寧できれいな仕事を心掛け、栄養科の一員として信頼されるよう頑張ります。



西 千晶(図書室)

笑顔で謙虚な気持ちを忘れずに、皆さんのお力になりたいと思います。見かけたら声をかけて下さい。



佐々木 智子(診療情報管理室)

早く仕事を覚えられるように頑張ります。



高橋 くみ子(はやの里介護福祉士)

1日でも早く仕事を覚え笑顔忘れず、利用者1人1人に寄り添う介護をしていきたいです。



仲野 彩子(はやの里介護福祉士)

1日でも早く業務を覚え、利用者の方に信頼される介護福祉士として頑張りたいと思います。



衛藤 陽子(はやの里介護福祉士)

いつでも明るく笑顔忘れずに、皆様に信頼されるよう頑張ります。



荒井 ユカリ(はやの里介護士)

早く仕事を覚えて、患者さんに笑顔で接することが出来るよう頑張ります。



武野 眞理子(はやの里介護士)

利用者の皆様との信頼関係を1日でも早く築き、安全で快適な環境で過ごせるよう努めたいと思います。



後藤 寿枝(竹田クリニック 看護部)

明るく元気に皆様と接していきたいと思っています。

インフォメーション



昨年12月13日(土)に大分レムブランドホテルで大分記念病院の忘年会が開催されました。

末友先生の開会挨拶と豊田先生の乾杯の音頭で開幕し、豪華な料理を堪能しつつ歓談を楽しんでいると、恒例の新入職員を中心とした余興が始まりました。

先陣を切ったのが今年大流行した映画「アナと雪の女王」のエルサに扮した佐藤栄一先生の出し物!職員一同を笑いの渦に巻き込み一気に盛り上がったところで、懐かしいアニメセーラムーンのテーマソングを1Fスタッフが踊り、続いて杉崎勝教先生がカラオケで美声を披露。そして、竹田クリニックが「くまもん体操」を元気よく踊れば、臨床工学科の男性3人による話題となった「カンナムスタイル」のダンスをキレキレで格好良く披露!さらに、は



やの里職員が「マツケンサンバからのゴールデンボンバー」を激しく踊り、最後に白橋頭彦先生と看護部&栄養科スタッフによる人気アニメ「妖怪ウォッチ」の曲を可愛く、元気に踊り大喝采の元に余興を



締めくくりました。

最後は高田先生の閉会挨拶と向井先生の万歳三唱で幕を閉じました。

今年は、住宅型有料老人ホームはやの里も開設し、また新たな一歩を踏み出した年となりました。新たな施設、そして新たな仲間と共に今後も着実に前に進んでいきましょう。



編集後記

明けましておめでとうございます。昨年、高田名誉理事長が巻頭言で書かれているように、記録的な大雪、洪水、土砂崩れ、そして火山の噴火と、本当に心安まる間もない1年でしたが、思わず元気が出る出来事もありました。ノーベル物理学賞に日本人から3名の受賞者が出たことです。大変喜ばしく、感激しました。

さて今年度は大分記念病院が創立35周年を迎えるとともに、病院機能評価を更新する年でもあります。何かと忙しくなりそうな予感がありますが、希望という光を持って、LEDに負けないくらい効率よく皆で頑張っていきたいと思えます。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

(患者サービス向上委員会委員長 三浦)

がん患者さんやそのご家族、介護援助者の方々の交流会です。
一般の方もご自由にご参加ください。

リレー・フォー・ライフ 大分サロンのご案内 毎月第3日曜日
午前10:00~12:00

当院1階多目的ホールで開催しています。会費は不要です。

医療法人 大分記念病院

基本理念

- 1) 私達は病院各部門が一致協力して、患者中心のチーム医療を実践することにより、患者満足度と幸福に貢献します。
- 2) 私達は常に診療レベルと看護ケアの向上を図ると共に地域住民に安全で良質の医療を提供します。
- 3) 私達は地域の医療・福祉機関との緊密な連携を保ちながら地域完結型医療を実践します。

基本方針

- 1) 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた医師による全人的医療を患者の皆様へ提供します。
- 2) 患者の皆様立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
- 3) 患者の皆様満足度を高めるべく、心のこもった医療サービスに努めます。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

